



2学期を振り返って

校長 池田 忠徳

2学期は新型コロナウイルス感染症第5波の真ただ中で始まり、学校・寄宿舍行事の中止・内容変更を余儀なくされました。特に、昨年度延期し10月に実施予定の高等部普通科及び保健療科の修学旅行が中止となったことは本当に残念でした。しかし、9月下旬には感染者数も減少し、規模縮小だったものの10月3日に体育祭を実施することができました。中学部の修学旅行は9月16日に県内日帰り、小学部は予定どおり11月9日に長崎1泊2日で何とか実施できました。10月14日の芸術劇場や、11月15日の龍谷高校とのスポーツ交流会等、幼児児童生徒が楽しみにしていた行事が開催できたことは何よりでした。とはいえ、常にマスク着用と消毒、人と接触する際には感染を疑う現在の状況が、幼児児童生徒や教職員の皆さんに何らかの影響を与えているのではと心配する毎日でした。一日も早いコロナ禍の終息を願うばかりです。

(点字ブロック)

10月・11月に公立学校共済組合佐賀支部主催のウォーキンググランプリに本校職員有志とエントリーし、毎日1万歩を目標に歩くことにしました。そのついでに佐賀市内の点字ブロックがどこまで続いているか確認し地図にマーカーで記入してみました。実際に歩いてみると様々なことに気づかされたのですが、このことは本校HP「校長室より」に詳しく記載する予定ですのでそちらをご確認いただければと思います。

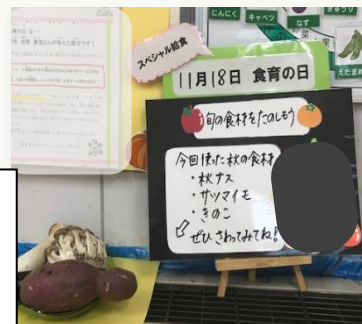
最後に、令和4年が皆様にとってよい年となりますようお祈りいたします。

【 食育の日 給食の紹介 】

毎月19日前後に、食育の日として、食育放送を行っています。食育月間の11月は、高等部の生徒が家庭科の授業で考えたスペシャル給食を実施しました。「旬の食材を楽しもう」というテーマで、栄養バランスに配慮した献立を作成し、出来上がりのイメージや思いを調理員に伝えました。食後に「思い描いていた給食でした」とお礼を言う姿は、とても印象に残っています。このような取り組みを今後も続けていきたいと思っています。



献立作成の難しさや健康への思いを放送しました

季節のパスタ(秋ナスときのこのトマトソース)
特製ドレッシングサラダ
スイートポテトタルト

幼小小学部

【2学期お楽しみ会 12/15】

盲学校らしく、美しい音楽にあふれた会になりました。みんなで歌や出し物、プレゼント交換をしました。各クラスの出し物は、独唱、楽器演奏、実験「空気砲」などバラエティー豊かで、一人一人の個性と成長が感じられました。



中学部

【学部朝礼】

中学部では毎週金曜日に、学部朝礼を行っています。全員が集まり、当番の人の話、週番の報告、係からの連絡等があります。みんなが楽しみなのは、やはり当番のお話です。この時は3年生が、「おせちクイズ」をして、おせちに込められた意味を教えてくださいました。



【6年生からインタビュー】

6年1組の児童が、中学部にインタビューに来てくれました。中学部ってどんなところなのか不安いっぱいだと思いますが、先輩たちの話を聞いて、少し楽しみな気持ちをもってくれたようです！



高等部

【「さがを誇りに思う教育推進事業」講演会 12/3】

この用例、点字でどう書く？

《佐賀弁》 しーか
《標準語》 酸っぱい
(用例) こがん しーか 梅干しば、わさんな ゆーくーない。

今年は『佐賀弁を好きになろう』と題し、本校職員が講師となって、佐賀弁の奥深さを伝える講演会を開催しました。標準語の点字表記はお手の物の本校生ですが、方言の〈分かち書き〉には少々苦戦の様子。それでも、楽しみながら佐賀弁の魅力について学びました。



理療科の生徒はブレイルメモ（点字電子手帳）で佐賀弁の点訳に挑戦。

寄宿舎

【睦コンサート 12/16】

佐賀ギター音楽院『ラ・エスペランサ』の皆さんに来ていただき、睦コンサートを開催しました。昨年はコロナ禍で中止となり、2年ぶりの開催に舎生も心待ちにしていました。

ベートーヴェンの「トルコ行進曲」から始まり、「いい日旅立ち」「きよしこの夜」などギターの種類や曲の紹介を交えながら演奏していただきました。楽曲によって表情の異なる音色に魅了され、皆聴き入っている様子でした。舎生からは、「来年も楽しみにしています！」という声も聞かれ、温かく心地よい音色に包まれて至福のひと時を過ごしました。



見えないことや見えにくいことで困っていませんか？
「目の支援センター ゆうあい」へ相談してみましょう。
相談は無料です。秘密は厳守します。
相談しても、盲学校に転入学する必要はありません。

佐賀県立盲学校
目の支援センター
ゆうあい



TEL 0952 - 23 - 4672